

10/26

仮装をして大盛り上がり ははこのハロウィンパーティー

は このハロウィンパーティー（北海道社会福祉連絡協議会主催）が母と子の館で行われ、約100人が参加しました。

母と子の館の日に合わせて、読み聞かせ団体「絵本の玉手箱」が運営を行い、ハロウィンパーティーを初めて開催。

当日はお菓子が配られたり、エプロンシアターやスライドショー、仮装大会、ドイツゲーム大会が行われ、会場は大いに盛り上がりました。



仮装をしてポーズを決める子どもたち

10/24~10/26

洞爺中3年生9人 総合的学習で社会福祉体験

洞 爺中学校の3年生9人が、洞爺地区にある社会福祉施設で福祉体験を行いました。総合的学習の一環として実施され、3年生は、洞爺湖町老人デイサービスセンター、財田の杜、大原の杜2016の3カ所に分かれ、各施設でのプログラムに従って実習しました。

財田の杜では3人が体験。収穫祭でのサンマ焼きや利用者への昼食のお世話など、お年寄りと共にコミュニケーションをとりながら、福祉の現場を学びました。



収穫まつりのお手伝いでサンマを焼く洞爺中学生

11/10

会場に元気な歌声響く 洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル

年 に1度町内の小中学生が集まり合唱を披露する第25回洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル（同実行委員会主催）が洞爺湖文化センターで開催されました。

参加したのは虻田、洞爺湖温泉、とうやの3小学校と虻田、洞爺の2中学校の合わせて5校。

プログラムの最後には会場の児童・生徒全員で「マイバード」を歌い、会場全体に元気な歌声を響かせました。



会場の児童・生徒全員で歌ったマイバード

11/7

3感で元気に活動 町老人クラブ連合会女性部研修会

洞 爺湖町老人クラブ連合会女性部研修会が、健康福祉センターさわやかで、会員36人が参加して開かれました。

最初に旧宮尾登美子文学記念館「朗読の会」の合田詔子さんと斎藤麗子さんによる「宮尾本平家物語」の朗読が行われ、続いて、公文学習療法センターエリアマネージャーの鴨下之彦さんが健康寿命を延ばすために「感動する、感心を持つ、感謝する」の3感の大切さを語りました。



熱心に健康寿命について聞く女性部会員

11/17 町の特産品揃う 町民感謝祭

町内で生産されたおいしい農産品や加工品を安価で提供する町主催の町民感謝祭が、役場駐車場で開催されました。ホタテなどの魚介類や野菜、新米などを買い求める町民でにぎわいました。

会場では、さまざまな企画が催され、1回200円の納豆の詰め放題は、10分で完売。恒例の1袋1000円のホタテ販売にも、整理券を求めて長い行列ができ、洞爺湖あか毛和牛串焼きの試食も人気を博しました。



人気となった納豆詰め放題

11/10 リュートの優しい音色 芸術館で朗読音楽会

洞爺湖芸術館開館10周年を記念して、「ロバのおうじ」をリュートの音色に合わせて読む、朗読音楽会が同館で開催され、やさしい音色と朗読に約50人が耳を傾けました。

当日は、永田斉子さんのリュート演奏に合わせて、札幌の朗読家兎ゆうさんが物語を朗読。優しく優雅なリュートの音色やスクリーンに投写された美しい絵、感情がこもった朗読のコラボレーションに、会場は静寂な雰囲気で包まれました。



やさしいリュートの音に聴き入る来場者

11/20 虻田中学校で防災教育 HUGで考える力育成

虻田中学校で、災害時に自ら守り抜く力の育成などを狙い、全校生徒125人が参加して、避難所運営ゲームHUG（ハグ）を行いました。

HUGは、避難者の情報（年齢・性別など）が書かれたカードを、避難所となる体育館などに見立てた紙の上に話し合っ配置するゲーム。当日は、1班6〜7人で18班の編成で行いました。参加した1年生は「今回の経験を、実際の災害時に生かしていきたい」と話しました。



話し合いながらHUGを進める生徒たち

11/17 子どもの健全育成を目指す 洞爺湖町 PTA 連合会研究大会

平成30年度第20回胆振西部PTA連合会兼洞爺湖町PTA連合会研究大会が洞爺湖温泉小体育館で行われ、135人が参加しました。

子どもの健全育成、地域の教育力の向上・推進のために、北海道教育委員会教育委員の鶴羽佳子さんが講演。

子どものコミュニケーションの課題を挙げ、会話を上げるポイントやPTAとして学校に協力できることなどを体験を交えて話しました。



鶴羽さんの講演を聞く参加者の皆さん